

# キャリアデザイン科目

(2014 年度以前入学生)

<b>学是</b> (学則第1条の2)	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる人材を育成する。		
<b>経済学部の人材養成及び教育研究上の目的等</b> (学則第3条の3)	<p>経済学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、少人数制によるキャリア支援教育、総合教養教育、経済学・経営学の専門教育等を通じて、質の高い学士力を有し、多様化し複雑化する現代社会に適応できる、幅広い職業人を養成することを目的とする。</p> <p>【<b>経済・経営学科</b>】経済・経営学科は、経済学領域・経営学領域を広く学び、環境や消費者保護、企業倫理などの公共の視点に立ち、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを目的とする。</p> <p>【<b>地域創造学科</b>】地域創造学科は、経済・経営学の科目を基盤に、地域創造に関する専門的知識を学び、PBL(Problem-Based Learning)やアクティブラーニング型の授業を重視した教育課程により、地域を構成する多様なステークホルダーと協働し地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけた人材の養成を目的とする。</p>	<b>卒業認定・学位授与の方針</b> (ディプロマ・ポリシー:DP)	本学は、学是「自律処行(自らを律することができる、自ら考えて判断し、責任を持って行動する)」を体現し、総合的な教養・特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針(DP)を3つの領域(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性)から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 <b>【知識・技能】</b> キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。 <b>【主体性・協働性】</b> 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
	<b>教育課程編成・実施の方針</b> (カリキュラム・ポリシー:CP)	本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針(DP)の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。 <b>【教育内容】</b> 1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。 <b>【教育方法】</b> 1. 学生の主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。 <b>【教育評価】</b> 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	

経済学部のカリキュラム				卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕			
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
旧・キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ (再履修用)	3・4前	この授業では、自己理解と他者理解を深め、人間関係の形成に向けての準備を目指します。また、大学生活を意義あるものにするために1年間の生活を振り返り、目標の再設定をできるようにします。授業の中では、グループディスカッションなどを通じて、コミュニケーション能力(自己アピール力、表現力)の向上を目指します。	① 働く意味を認識し、将来の目標(長期的な目標)、大学での目標(短期的な目標)を設定し、文章で具体的に表現することができるようになる。② 自分の特徴、「強み」や「弱み」などについて、文章で表現することができるようになる。③2分間スピーチで、自己紹介と自己PRをすることができる。	◎	◎	○
旧・キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅡ (再履修用)	4後	この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にするために、仕事・就職を中心に将来の自分の姿を思い描き、社会人としての満足について説明します。また、グループワークに取り組み、プレゼンテーション能力の向上を目指します。自分の職業に対する適性について詳しく分析する就職活動へ向けた準備を進めます。さらに、インターンシップへの参加の準備も支援します。	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができるようになる。2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4) 働く意味の認識でき、将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	◎	◎	○
旧・キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅢ (再履修用)	4前	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取り組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	○	◎	○
旧・キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅣ (再履修用)	4後	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取り組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	○	◎	○